

今月は、先進企業 14 社の事例から発見したワーク・ライフ・バランス（WLB）10 のポイント、女性の WLB を応援する「女性応援ポータルサイト」開設、新入社員の会社選びのポイントで WLB が初のトップ 3 入りや全国各地の WLB セミナーなど WLB の最新の動き・トピックをお届けします！

（目次）

《コラム》 (株)JTB 社など WLB 先進企業 14 社の事例から 10 のポイント発見！ワーク・ライフ・バランス浸透・定着に向けたポイント・好事例集を発行【内閣府】

《最新情報》

- 学生・生徒など若者が知っておくべき『これってあり？まんが 知って役立つ労働法 Q&A』HP で公表【厚生労働省】（2015 年 4 月）他
- 「女性応援ポータルサイト」「はばたく女性人材バンク」を開設【内閣府】（2015 年 3 月）
- 今年の新入社員は「消せるボールペン型」【(公財)日本生産性本部】（2015 年 3 月）
- 「女性再チャレンジ支援セミナー」の開催【秋田県】（2015 年 4 月）他
- ワークライフバランス基礎研修会 in 池袋【主催：東京都】他

《統計・調査トピックス》 新入社員の会社選びのポイントに「ワーク・ライフ・バランス」が初のトップ 3 入り！【明治安田生命保険相互会社】（2015 年 3 月）

.....

《コラム》

「社内におけるワーク・ライフ・バランス浸透・定着に向けたポイント・好事例集」を発行  
内閣府男女共同参画局 仕事と生活の調和推進室

平成 27 年 3 月、内閣府仕事と生活の調和推進室では、「仕事と生活の調和推進のための啓発のあり方に関する調査研究」の報告書を取りまとめました。上記「社内におけるワーク・ライフ・バランス浸透・定着に向けたポイント・好事例集」（以下、「ポイント・事例集」とします。）は、この調査研究の成果物として発行したものです。

#### ○調査研究の経緯

これまでも同室では、多くの企業を対象に、働き方改革などワーク・ライフ・バランスの取組について、調査研究を行ってきました。こうした中、ワーク・ライフ・バランスの推進に成功した企業を見ると、制度づくりに加えて、経営トップや管理職、人事担当者が従業員を啓発し、働き方・休み方に対する意識の変革を図ると共に、ワーク・ライフ・バランスを「経営戦略」に位置付けるなど経営トップの方針として従業員に共通認識を持たせる努力と工夫が、随所に見受けられました。

そこで、企業におけるこうした取組を「社内啓発の取組」と呼ぶこととし、経営トップ等による行動のポイントや取組事例を調査研究し、広く周知することになりました。

#### ○ポイント・好事例集の概要

今回、社内啓発の取組を先進的に行っている企業 14 社に訪問し、経営者等による啓発内容をヒアリングさせていただき、有識者による企画委員会を経て、下記の「10 のポイント」(※)と企業ごとの取組事例をとりまとめました。

#### ※ ワーク・ライフ・バランス浸透・定着に向けた 10 のポイント

- (1) 経営トップが本気を示す ～経営トップからのメッセージを繰り返し発信する～
- (2) キーパーソンとなる担当者等を配置する ～担当者・部署を通じて取組を浸透させる～
- (3) WLB (ワーク・ライフ・バランス) 管理職をつくる ～管理職が理解し、率先して実践する～
- (4) 積極的にコミュニケーションを図る ～個人や家庭の事情を話しやすい風土をつくる～
- (5) 「自分ごと」として考える環境をつくる ～従業員一人ひとりを主人公にする～
- (6) 組織ぐるみで生産性を高める ～業務の棚卸し、見直し、改善を行う～
- (7) 「よく働き、よく休む」を習慣化する ～「休み」を明日の成果につなげる～
- (8) 取組の進捗を「見える化」する ～達成状況の可視化でモチベーションの向上を図る～
- (9) 業界や顧客を巻き込む ～社外の理解と協力を得る～
- (10) 社外の施策を活用する ～国や地方自治体等の表彰・認定等を取り入れる～

詳細は、下記 URL からご確認ください。貴社におけるこうした活動の参考にさせていただき、ひとり一人がワーク・ライフ・バランスを実感できる社会に向けて取組を進めていきましょう。

⇒ [http://wwa.cao.go.jp/wlb/research/wlb\\_h2703/chapter4.pdf](http://wwa.cao.go.jp/wlb/research/wlb_h2703/chapter4.pdf)

.....

《最新情報》(原則として、発行月の前月以降に更新された内容を掲載しています。)

●学生・生徒などの皆さんを対象に、就職して働き始める前やアルバイトをする際に知っておくべき労働に関する基本的なルールをまとめたハンドブック『これってあり？まんがが知って役立つ労働法 Q&A』を公表【厚生労働省】(2015 年 4 月)

学生・生徒などの皆さんが就職先を選択する際や働く中で参考になるよう、働くときに最低限知っておいてほしい基本的なルールを分かりやすくまとめたハンドブックができました。困ったときの相談窓口もわかるようになっていきますので、ぜひ一度、読んで下さい。

なお、『知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識～』と併せて読んでいただくと、

より一層労働法についての理解が深まりますので、こちらもご活用ください。

⇒ (『これってあり？まんが 知って役立つ労働法 Q&A』)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/mangaroudouhou/>

⇒ (『知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識～』)

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/roudouzenpan/roudouhou/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudouzenpan/roudouhou/index.html)

● 「女性応援ポータルサイト」「はばたく女性人材バンク」を開設【内閣府】(2015年3月)

内閣府男女共同参画局ウェブサイト内に、様々なライフステージにある女性を応援する支援情報を掲載した「女性応援ポータルサイト」と、企業における役員候補となり得る、女性人材の情報を掲載した「はばたく女性人材バンク」を開設しました。

ぜひご活用ください。

※ 「女性応援ポータルサイト」

⇒ <http://www.gender.go.jp/policy/sokushin/ouen>

※ 「はばたく女性人材バンク」

⇒ <http://www.gender.go.jp/policy/yakuin>

● 平成27年度の新入社員の特徴を発表【公益財団法人日本生産性本部】(2015年3月)

(公財)日本生産性本部の「職業のあり方研究会」(座長 ライズコーポレーション(株)代表取締役 岩間夏樹氏)は、その年の新入社員の特徴や就職採用環境の動向などについて調査研究を行っており、平成27年度の新入社員のタイプは「消せるボールペン型」とまとめています。

⇒ <http://activity.jpc-net.jp/detail/lrw/activity001438.html>

● 「短時間労働者対策基本方針」を策定しました ～パートタイム労働者の均等・均衡待遇の確保や正社員へ転換するための取組を推進～ 【厚生労働省】(2015年3月)

厚生労働省は、平成27年度から平成31年度までの5年間に取り組むべき、短時間労働者(パートタイム労働者)の雇用管理の改善などの促進や職業能力の開発・向上などに関する施策の基本となる「短時間労働者対策基本方針」を策定しました。

少子高齢化や労働力人口の減少が進む中、全員参加による社会を実現するためには、就労を希望する人がそれぞれのライフスタイルに応じた働き方を通じて、能力を発揮することができるよう、多様な働き方を実現するための環境整備を社会全体で進めることが重要です。このため、「短時間労働者対策基本方針」では、短時間労働者の均等・均衡待遇の確保や通常の労働者(正社員)への転換などの取組を一層推進することなどを掲げています。

厚生労働省は、この基本方針に沿って、今後の短時間労働者に関する施策に取り組んでいきます。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000078777.html>

●平成 26 年度「キャリア・コンサルティング研究会報告書」の取りまとめ～企業経営からみたキャリア・コンサルティングの意義や効果の現状把握と企業の好事例を取集～【厚生労働省】(2015 年 3 月)

厚生労働省では、「平成 26 年度キャリア・コンサルティング研究会」(座長:小杉礼子 独立行政法人労働政策研究・研修機構 特任フェロー)の報告書を取りまとめました。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000079601.html>

●第 8 回 今後の仕事と家庭の両立支援に関する研究会の開催【厚生労働省】(2015 年 4 月)

4/10 に第 8 回研究会を開催しました。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000082255.html>

●「女性再チャレンジ支援セミナー」の開催【秋田県】(2015 年 4 月)

結婚・出産・育児・介護等に伴い離職した女性の再就職や起業を促進するために、様々なセミナーを開催します。

内容は、パソコン講座や接遇マナーなどベーシックな講座から、自分の適性を知る講座、経理のプチ講座、プレゼンテーションの仕方、キャッチコピーを考える講座など、平成 27 年度は 25 講座を予定しています。

⇒ <http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1428540649218/index.html>

●東京都中小企業ワークライフバランス実践支援事業【東京都】(2015 年 4 月)

東京都は、労働時間の削減等、仕事と生活との両立支援体制の整備といった働き方の見直しに取り組む中小企業の事業主の皆様を応援するため、ワークライフバランス推進助成金とワークライフバランス推進専門家派遣の募集を開始します。

平成 27 年度から、介護や女性に関する取組について助成対象の拡大を図るとともに、仕事と介護の両立に向けた取組を支援する奨励金を新設します。

⇒ <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2015/04/20p46100.htm>

●「仕事と育児の安心両立サポートハンドブック」の発行【石川県】(2015 年 3 月)

働きながら子育てをする際の不安解消を図り、育休からの円滑な職場復帰と、その後の就業継続を支援しており、その一環として、働く女性(ママ)を応援するため「仕事と育児の安心両立サポートハンドブック」を作成しました。

⇒ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kisya/h27/documents/0326syousika2.pdf>

●ふくいの働きやすい企業ガイド「目指せ！5つ星！」【福井県】（2015年3月）

福井県では、女性の就業率、共働き率が日本トップクラスであることから、子育てしやすい環境づくりや、女性のゆとり時間の創出など、仕事も家庭も充実した女性がリーダーとして、活き活き活躍できる社会づくりを進めています。このガイドは、男女ともに働きやすい職場環境づくりを行っている企業の取り組みを、企業で働く方や学生をはじめ、県民のみなさまに広くご紹介するものです。

⇒ <http://www.pref.fukui.jp/doc/danken/danjo/guide.html>

●「女性のための起業支援セミナー」受講者募集【静岡県】（2015年4月）

起業という大きな夢を実現させるために最初の一步を踏み出したい方、また、起業したばかりの方が集まるセミナーです。自分が好きなことを仕事にしたい！起業するための手順を知りたい！いろいろなアイデアがある！そんなあなたの思いを、“起業”という形に変えてみませんか。

⇒ <http://www.pref.shizuoka.jp/kenmin/km-150/danjo1.html>

●「女性の活躍に積極的に取り組む企業等」を表す愛称及びロゴマークの募集【愛知県】（2015年4月）

愛知県では、「女性が元気に働き続けられる愛知」の実現に向けて、「あいち女性の活躍推進プロジェクト」を推進しています。このたび、プロジェクト事業の一環として、働く場における女性の活躍に積極的に取り組んでいる企業・団体を県が認証し、広くPRすることにより、企業等における更なる取組を促進していくこととしております。

そこで、女性の活躍に積極的に取り組む企業等であることを、県民の皆様にわかりやすく紹介するための、愛称とロゴマークを募集することにしました。

⇒ <http://www.pref.aichi.jp/0000081782.html>

●平成27年度キャリアアップ講座（岡山・津山）受講者募集【岡山県】（2015年4月）

結婚・出産・育児・介護等でいったん仕事を中断し、再就職を希望する女性を対象に、就業に関する基礎知識やエクセル3級程度のパソコン基本操作等を習得する講座を開催します。参加費は無料。この講座の受講者を募集します。

⇒ <http://www.pref.okayama.jp/site/presssystem/380755.html>

●第4回「とくしまイクメン大賞」等の受賞者決定及び表彰【徳島県】（2015年4月）

男性のより積極的な育児参加を推進するため、「イクメン」や、「イクメンを促進している企業・団体」、また、身近な父子等を題材にした「イクメン川柳」を募集し、受賞者を決定しました。

⇒ <http://www.pref.tokushima.jp/docs/2015041700107/>

●労働セミナー「経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス」の開催【長崎県】(2015年4月)

企業自らが業務の効率化をはじめとする経営戦略として、ワーク・ライフ・バランスをはじめとする誰もが働きやすい職場環境づくり実現に向けた取り組みを実践していくことの重要性をわかりやすく説明します。

⇒ <http://www.pref.nagasaki.jp/object/event-koza/event/191765.html>

●「平成26年度労働条件実態調査」結果を公表【宮崎県】(2015年3月)

本調査は、民間企業に雇用されている労働者の労働条件を把握し、その実態を明らかにし、今後の労働行政の基礎資料とすることを目的としています。仕事と家庭の両立支援のための各種制度の導入状況についても記載されています。

⇒ [http://www.pref.miyazaki.lg.jp/rodoseisaku/shigoto/rodo/index\\_jittai.html](http://www.pref.miyazaki.lg.jp/rodoseisaku/shigoto/rodo/index_jittai.html)

●ワークライフバランス基礎研修会 in 池袋【主催：東京都】

日時 平成27年5月19日(火) 14:00~16:00

場所 東京都労働相談情報センター 池袋事務所 3階セミナー室

テーマ ...ワークライフバランス...中小企業のための人材戦略

講師 特定社会保険労務士 新田 香織氏

対象 経営者、人事労務担当者、テーマに関心のある方

参加費 無料

⇒ [http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/27\\_ikebukuro.html](http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/27_ikebukuro.html)

●確認！パートタイムで働く人が知っておきたい知識【主催：東京都】

(1)

日時 平成27年5月25日(月) 18:30~20:30

テーマ パートタイム労働のポイント(前篇)

講師 特定社会保険労務士 新田 香織氏

場所 東京都南部労政会館(大崎)

対象 労働者、その他関心のある方

参加費 無料

(2)

日時 平成27年5月28日(木) 18:30~20:30

テーマ パートタイム労働のポイント(後篇)

講師 特定社会保険労務士 新田 香織氏

場所 東京都南部労政会館（大崎）  
対象 労働者、その他関心のある方  
参加費 無料

⇒ [http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/seminarform/index/detail?kanri\\_bango=seminar-zchuo-000570](http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/seminarform/index/detail?kanri_bango=seminar-zchuo-000570)

.....

《統計・調査トピックス》

ワーク・ライフ・バランスに関連した調査についてご紹介します。

●「新入社員を対象としたアンケート調査」【明治安田生命保険相互会社】（2015年3月）

明治安田生命保険相互会社は、「新入社員を対象としたアンケート調査」を実施しました。調査結果のポイントとしては、  
・会社選びは「会社の安定性」が1位！「ワーク・ライフ・バランス」が初のトップ3入り等が挙げられています。

⇒ [http://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2014/pdf/20150320\\_01.pdf](http://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2014/pdf/20150320_01.pdf)

.....

●このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。  
このままご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/tetsuzuki.html>

バックナンバーはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府仕事と生活の調和推進室ホームページはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/>

.....

《編集後記》

平成27年度第1回の配信です。今月は、「社内におけるワーク・ライフ・バランス浸透・定着にむけたポイント・好事例集」を中心にお届けしました。

昨年度に引き続き今年度もカエル！ジャパン通信の担当の一人として、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けて、タイムリーな情報をお送りしていきたいと思っています。どうぞご愛読ほどよろしくお願いたします。（は）

.....